

# いつもの亀岡。

-Shooting our life-











# Shooting Our Life







## Contents


4　わたしたちの地元・亀岡
14　「ファインダー女子広報部」活動紹介
15　「ファインダー -京都女学院物語-」聖地巡礼
16　漫画家・秋本治先生スペシャルインタビュー
20　わたしたちの日々






## はじめに

朝起きて、学校へ行くまでの道のり、
休憩時間や放課後に友だちと交わす他愛もない会話。

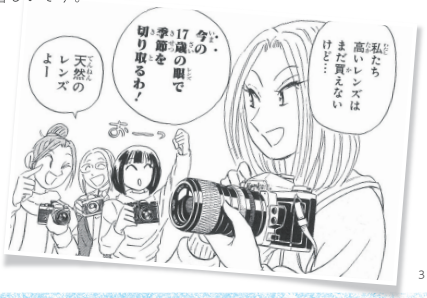
彼女たちが見ているもの、過ごしている時間が、
「特別」であったことに気がつくのは、
長い人生において、それからずっと後の話かもしれません。

今、子どもから大人になる過程にいる彼女たち。
はやく大人になりたい！という気持ちが芽生える一方で、
いつまでも子どもでいたい！と願う無邪気さを内に秘めています。

漫画の中で「今の17歳の眼（レンズ）で季節を切り取るわ！」
という鷹弧（タカコ）のセリフにあるように、
写真には、その瞬間に見えている光景が映し出されています。

小さい頃から見てきたはずのお祭りですら、別のものに見えてくる。
身も心も成長するにつれて、
人と違う視点を探そうとする姿を一冊のフォトブックに収めました。

彼女たちの眼（レンズ）を通して、旅をするように「亀岡」の日常を
想像していただけたら嬉しいです。






## 01　亀岡駅前

一眼レフカメラをひとりで持ち歩いて写真を撮るのって、
すこし勇気がいりませんか？
撮りたい気持ち半分、恥ずかしい気持ち半分…。
その２つの気持ちが争った結果、
控えめに目立たないように、さり気なーくパシャっと。

## 02　京都ダイコクバーガー

わたしたち「かめじん*」にとどまらず、
遠くからも人が訪れるハンバーガーショップ。
あたたかなお店に、色とりどりの飲み物がたくさんあって、
ついつい長居してしまう。
みんなで過ごす時間はおいしくて楽しい！



*「かめじん」とは … 亀岡で暮らす人たちのこと



## 03　光秀まつり

普段なかなか見ることができない、
馬の美しい筋肉。
甲冑の柄と馬具のオレンジ色の相性もばっちり！



## 04　亀岡祭

年に一度の亀岡祭。
地元の人はみんな、このお祭りが大好き。
いつもの夜にはない灯がともり、
お囃子のコンチキチンが
町中のあちらこちらに鳴り響く。



## 05　通学路

～放課後サイクリング～
不思議な路地に入って、
グネグネ道がしばらく続いてて、
なんだか不思議な場所だったなぁ。





## 06　たまごと鮭

たまごとサーモンは仲良し。
たまごの黄色とサーモンのオレンジが
調和しあっているね。






## 07　いざ、テスト勉強

勉強のおトモを買いに、行きつけのスーパーへ。
風が心地よい～かえりた～い！

## 08　おばあちゃん

帰り道、自分んちの軽トラをみつけると、
自転車を漕ぐスピードがちょっと速まる。
「ただいま～～！」
「おかえり～」
暑い日も寒い日も、
毎日畑で何かしている地域のおじいちゃん・おばあちゃんたち。
似たような服装してはるけど、
自分のおばあちゃんは遠くにいても判別できるもんやなぁ。



## 09　成人式

幼なじみ、変化したのは身長だけ。
（身長すら変わってない？）





## 10　子どもとカメラ

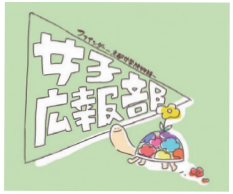
町民運動会で大活躍しているのは、元気な小学生たち。
わたしの持っていた一眼レフ目がけて襲いかかってきた！
一度カメラを持ったら離さない!!
お友だちや運動会に出てる大人たちをパシャパシャ撮りまくる！
これは将来有望な写真家になるぞ…



亀岡の日常を集めたフォトブックができました!!

# 「ファインダー-京都女学院物語-」女子広報部

このフォトブックに載っている写真は、わたしたちが撮影しています!







## Profile

2018年8月16日結成　亀岡市のPR隊

京都府亀岡市を舞台にした漫画「ファインダー-京都女学院物語-」の主人公は写真部に所属する女子高校生。その世界観を活かし、亀岡市内在学・在住の女子学生を中心に結成されたのがこの女子広報部です。まちの魅力を写真に収め、SNSなどで発信しています。

findergirls【ファインダー女子広報部】

国民的漫画家・秋本治先生作
「ファインダー-京都女学院物語-」(集英社刊)▶














## 女子広報部と行く、聖地巡礼☆



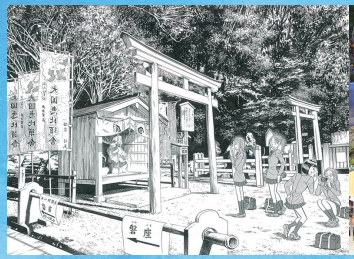
"ファインダー"に登場した場所を、ちょこっとご紹介!

### 京都ダイコクバーガー
Kyoto Daikoku Burger






主人公たちが放課後に集まってガールズトークに華を咲かせていたお店。できたてのハンバーガーが絶品!







### 出雲大神宮
Izumo Daijingu

縁結びで有名なパワースポット★「なでうさぎ」がかわいい!

### 南郷公園とかめおかの桜
Nango Park





亀岡には桜の名所がたくさん。南郷公園は池を背景に桜を撮ることができる写真スポットです!





# Special Interview

話し手 秋本治先生（漫画家） × 聞き手 ファインダー女子広報部（江見彩香・村田奈央・山口春香）

**ファインダー女子広報部員が、漫画家・秋本治先生に『ファインダー -京都女学院物語-』制作の背景や、取材で訪れた亀岡の印象などを伺ってきました！**

**江見**　秋本先生、はじめまして。本日はよろしくお願いします！はじめに、亀岡を舞台に『ファインダー -京都女学院物語-』を描こうと思ったきっかけを教えてください。

**秋本先生**　もともと「京都」が好きで、京都を舞台に新作を描きたいと思っていました。京都を訪れた際、トロッコ列車に乗ってみると終点が「亀岡」で。到着したときに、視界がふわっと広がって、緑が多くていいなぁ！と思ったのが、まちの第一印象です。ロケの際はJRで向かったのですが、窓から見える渓谷や、最後のトンネルを抜けたときの光景がドラマチックだと感じました。タクシーの運転手さんに「若者が行くお店はありますか?」と聞いてみると、「ダイコクバーガー」を紹介してくれて。お店を見た瞬間に、ここで女子高校生が集まる話にしよう！とひらめきました。







**江見**　主人公たちが自転車に乗っているシーンがとても印象的でした。

**秋本先生**　旅行先で見かけるような、地元の中高生たちが自転車で学校へ向かう風景が好きなんです。高校生の通学パターンは徒歩や電車もあるけれど、今回は、マフラーを巻いて、白い息を吐きながら自転車に乗る高校生を描きたいと思いました。そういった情景も、亀岡へ足を運ぶうちにどんどんイメージが湧いてきました。

**山口**　1コマ1コマ、細かいところまで丁寧に描かれていてすごいです！窓から山が見えているところにも、リアリティを感じました。

**秋本先生**　亀岡は、どこを見渡しても山が見えるのがいいよね。山があることで「あそこで行き止まりだな」と距離感がわかるのは、僕にとっても新鮮でした。山に囲まれていて、夏に見た入道雲がすごくきれいだったことも覚えています。それから、亀岡は神社や古い町並みがいいですね。

**山口**　ただ、亀岡には、高校生が行けるお店が本当に少ないんです……。

**秋本先生**　旅行者だから勝手なことを言うけれど、亀岡駅前にチェーン店がないのが非常に好印象でした。東京都内や新幹線の駅前はだいたい同じつくりになっているし、駅ビルに入っているお店も一緒。そうすると、どこのまちを訪れても同じまちに来た感覚になってしまいます。タクシーの運転手さんが「亀岡の高校生たちは映画を観に二条駅まで行く」と言っていたので、みんなは不便さを感じているかもしれないけれど、そういう“ちょっとした手間”がかかるのも、あとから考えてみると案外良かったりするんだよね。

**村田**　『ファインダー -京都女学院物語-』の連載を、家族みんなで楽しく読んでいました。一緒に住んでいるおばあちゃんも読んでいたのですが、漫画を描くときに心がけていたことはありますか?

**秋本先生**　僕自身、昔から漫画が好きでよく読んでいたのですが、親はあまり読んでくれなかったんです。それでも、唯一読んでくれたのがギャグ漫画でした。家族と漫画の話ができるのがすごく嬉しくて、『こち亀』を描いていた頃から“家族で読める”ストーリーづくりを心がけていました。ただ、男子高校生ではなく、女子高校生を描きたかったのは、こち亀の反動ですね（笑）。

**江見**　漫画でも描かれていましたが、亀岡の人たちは都会に憧れがある一方で、「五山送り火」などは、自分たちとは関係のない“外のもの”という感覚があると思っています。私自身もすごく共感したのですが、このあたりの感覚について、秋本先生はどのようにお考えですか。

**秋本先生**　実は、東京周辺にもその感覚があるんだよね。「埼玉」と「東京」にも、「亀岡」と「京都」のような距離感や人の関係性を感じます。でも、そこに住んでいる埼玉の人も“うちはうち”でいいんじゃないかと案外開き直っていたりする。僕の地元の「亀有」もそうだけど、中心からちょっと離れていて、亀岡の人たちが「京都に行く」と言うように、渋谷や原宿に行くことを「都心に行く」と言うんです。中高生の頃は、確かに中心に行きたくなるんだけど、しばらくすると、そこそこ便利で自然が近い環境の良さにも気づく。そういう気持ちも、今回描いてみたかったんです。

**山口**　現在、高校で美術系コースを選択しています。絵を描く上で秋本先生が大切にされていることは何ですか？また、学校の先生に「個性は自然と出てくる」と言われているのですが、悩んでしまいます。

**秋本先生**　学校で絵を勉強することは、基礎を学ぶ上で大切だと思うけれど、次のステップとして“その人しか描けない絵”を描くことが重要だと思います。学生時代、ピンクの横に灰色をもってくるような、独特な色使いをする子がいたんですよね。そういう特徴が、ゆくゆくその人の「個性」になっていきます。
漫画家でも、色をつける際に必ず紫や青を使う人がいます。「好み」や「こだわり」のようなものかもしれないけれど、人から教わることよりも、自分で見出したり、学んだりすると、それが強みになっていく。好きな作家さんは?どういう路線を目指したい？わからなかったら、いろいろな作品を見るのがいいと思います。あとは、自分が好きな作品を丸ごと模写してみるのもおすすめです。




**村田**　現在、制作を進めているフォトブックのコンセプトが「日常」なのですが、秋本先生が大切にしたい「日常」は何ですか?

**秋本先生**　「日常」は、僕たちにとって当たり前のことなんだけど、その大切さに気づくのはなかなか難しいことでもあるんです。いつも通りの生活ではなくなった時にはじめて、家族に「おはよう」と挨拶をして、朝ごはんを食べて学校へ行くということが、とても尊いことだと気づきます。特に、高校生活はあっという間に過ぎてしまう。『ファインダー-京都女学院物語-』では、高校生たちが過ごしている「青春」を丁寧に描きたかったんだよね。

そういった、みんなが何気なく過ごしている時間を、ぜひ写真で切り取ってみてください。毎日記憶はどんどん更新されてしまうけれど、あとで振り返った時に、写真はその時の温度感まで思い出させてくれます。それに、カメラを構えると、“いつも見ている”ふるさとの見え方が変わってくるんです。そういうものを、将来の自分のために残しておくといいんじゃないかって。そこにはきっと、みんなが大切にしたい「日常」が映っているはずだから。

**一同**　秋本先生、本日はすてきなお話をありがとうございました！

**秋本治先生 Profile**
東京都葛飾区亀有出身。代表作「こちら葛飾区亀有公園前派出所」。亀岡市が舞台の「ファインダー-京都女学院物語-」は2017年から2018年まで週刊ヤングジャンプ(集英社)に不定期連載。









## 石川 奈々の日々。

Nana's Days



大学への進学をきっかけに、亀岡との関わりができました。今回は「空」をテーマに、いろいろな亀岡の風景を撮っています！人物を撮るのがあんまり得意ではないので、その日の気分や思いを「空＋α」で届けられたら…と思い、シャッターを切っています。









亀岡は、高校に通うために初めて来たまち。自然が多くて、霧は幻想的だけど、濃い日は前髪がすぐに崩れる（笑）。写真は、思い出を振り返ることができるもの。風景だけでなく友だちなどの人物を撮る楽しさも知れた！色がきれいに見えるように、彩度を高めて撮影していました。

## 上野 楓の日々。

Kaede's Days













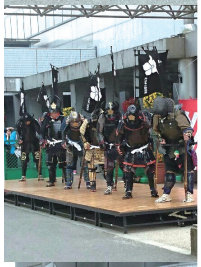

## 上村 奈緒の日々。

Nao's Days



3年前、大学の放送局に入り、初めて外の撮影を経験したイベントが「亀岡光秀まつり」だった。その時は先輩の補佐をしていた。3年ぶりの光秀まつりでは、鉄砲隊の緊張感、光秀を先頭に練り歩く武者行列、太鼓の演奏、手作り甲冑のカラカラと響く音など、すべてに魅了された。





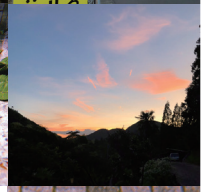














亀岡の空が好きです！季節ごとに変化する亀岡の空を見ると、つい写真を撮ってしまいます。ちょっと京都市内に憧れはあるけどやっぱり地元はホっとするし、時間がゆっくり流れるところも魅力です。今回は「なんか懐かしいなぁ」と感じる写真をピックアップしました！

## 宇野 芽生の日々。

Mei's Days

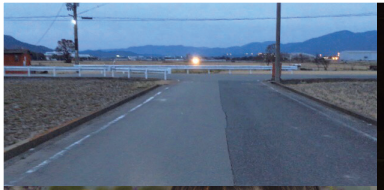













## 江見 彩香 の日々。

Ayaka's Days



地元である亀岡は、これからもずっと、ありのままの自分で漂っていたい場所。かけがえのない出会いのひとつひとつを、等身大でのこしていけるといいなぁと。といいつつ、カメラを構えたらついつい背伸びをしてしまう(汗)









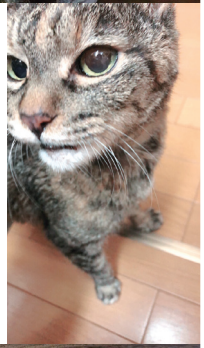




大好きなねこと友だちに囲まれて生きています。女の子っぽい性格じゃないですが、かわいいものがあったらすぐに携帯を取り出してしまうところは女子やなと思います(笑)。飾らず、自然体でわちゃわちゃした楽しい写真も好きです！

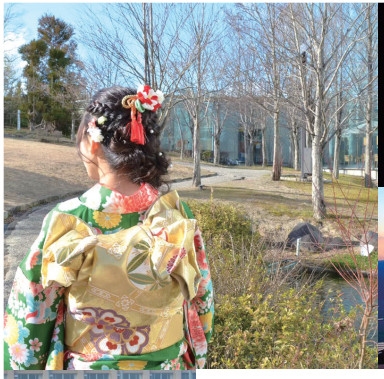
## 田中 美優 の日々。

Miyu's Days









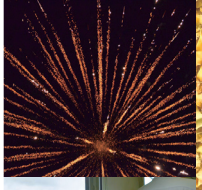
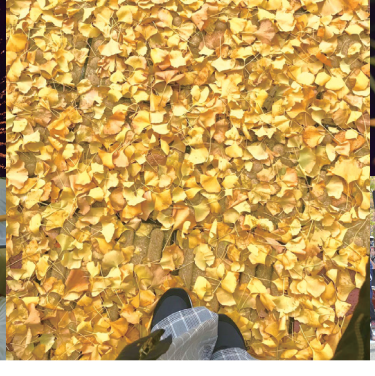

## 村田 奈央の日々。

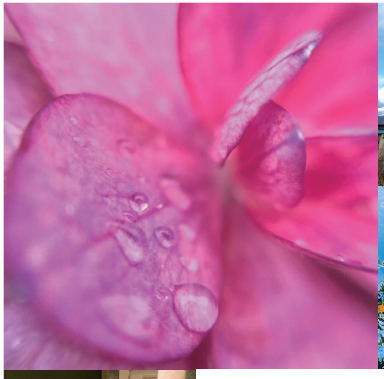
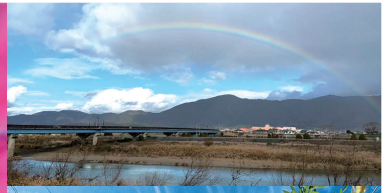
Nao's Days



わたしは亀岡の自然や人を撮るのが好き！最近嬉しかったことは、紅葉がきれいな時期になったこと。悲しかったことは、携帯の画面が割れたこと(笑)。亀岡は、桜、夏のプールや深緑、紅葉、カメムシなどなど、1年を通して魅力がたっぷり！





秋本先生の漫画をきっかけに、亀岡の写真を撮るようになりました。それまでは、なんとなく住んでいるまちでしたが、地元についてもっと知りたくなり、ファインダー女子広報部に入りました。私の中の亀岡を、もっと写真に残していきたいです。

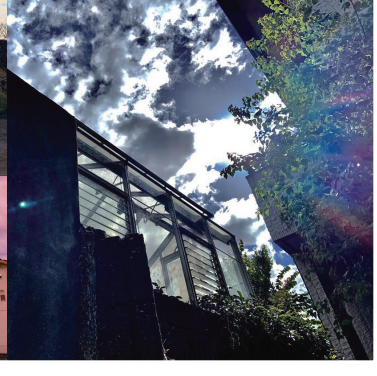
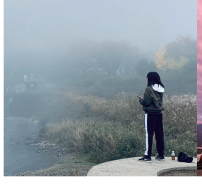
## 山口 春香の日々。

Haruka's Days









Kamazing
grace






## おわりに

テレビで見かける流行りのカフェに映画館、オシャレなショッピングモール…
ここに「ない」ものはいくらでも思いつくのに、
ここに「ある」ものを見つけるのはちょっとむずかしい。



亀岡で過ごしている日々のなかで、
自分の眼（レンズ）が見ているものを知りたくなったとき、
カメラをもって出かけてみるのはどうでしょう。
ポケットの中のスマホにも、いいカメラがついている時代です。

何気なく撮った写真や、夢中になって撮った写真。
そこにはきっと、友だちや恋人、家族と過ごしている大切な時間や、
こころの揺れ動き、思い出に残しておきたい瞬間、探し求めているもの、
そして、移りゆく季節が切り取られているのだと思います。

最後に、本企画に関わってくれた彼女たちをはじめ、高校生のみんなに、
「青春は色褪せない！」というメッセージを送るとともに、
これからの人生を思いっきり楽しんでほしいという願いを込めて。









## アクセス

■ 電車・バスの場合
［JR京都駅から］嵯峨野線快速で約20分
［阪急桂駅から］京阪京都交通バスで約40分

■ 自動車の場合
［京都市内から］国道9号・京都縦貫自動車道で約30分
［大阪市内から］阪神高速池田線・箕面グリーンロード・国道423号で約90分

**いつもの亀岡。** - shooting our life -

令和2年（2020年）3月発行
【発　行　元】亀岡市秘書広報課・「ファインダー -京都女学院物語-」女子広報部
【企画・制作】株式会社 基地計画
【協　力】秋本治・アトリエびーだま／集英社
※この冊子は、秋本治先生および（株）集英社の許可を得て作成しています。
SNSを含め無断転載はできません。

【ファインダー女子広報部 部員】
荒木 菜月・石川 奈々・市田 朱里・上野 楓・上村 奈緒・宇野 芽生
江見 彩香・田中 美優・細見 彩菜・村田 奈央・山口 春香

ファインダー
女子広報部公式
Instagram

